

一回生の同期会の報告

3月11日の東日本大震災で仙台市が多大の災害を被りました。その際薬学一回生の村田正弘君がDMAT(災害派遣医療チーム)委員長として活躍されました。

村田君のDMAT活動報告を聞くとともに薬学一回生卒業50年を記念して5月25日(土)作並温泉:岩松旅館にて同期会を持ちました。

その際参加者14名で薬学部を訪問いたしました。突然の訪問にもかかわらず大島教授(大学院研究科長)が親切に対応してくださいまして震災の被害の状況など説明いただき誠にありがとうございました。同窓会二次会では、薬学部訪問についての話も出て、義捐金というかお見舞いの気持ちを表すために10万円を集め、一回生の高橋威夫さんから大島教授を通じ、薬学部の復興に少しでも役立てさせていただきたいと気持ちを届けていただくことになりました。

復興にはさらに長い時間がかかると思いますが、教育と研究への使命感を再確認してがんばっていただきたいと思います。



一期生卒業50年記念:薬学部校舎玄関前
後列左より、柳瀬良文、中野卓雄、荒川睦、柴田徹一、草野源次郎、水野左敏、長濱昇、百瀬和亨、高橋威夫。前列左より、福島英明、小野寺威、村田正弘、高石勝夫、水柿道直。

